

編集後記

今月号の特集は「天疱瘡とその周辺」である。本邦における自己免疫性水疱症研究のレベルは非常に高く、最先端の研究をしている先生方を中心とした水疱症研究会があるが、それぞれの演題発表に際し、第一線の先生方が有益な助言をくださり、いい方向へ引っ張ってくれている。筆者は、故三橋善比古先生が会長を務められた年に、気を遣っていただき座長の役目をいただいて初めて参加し、その後世話人にも加えていただいた。以後毎年教室から演題を出しているが、大変勉強になる会である。

このように、学会にはならず討論主体の研究会がもう1つあり、皮膚脈管・膠原病研究会である。水疱症研究会は現在2つの製薬会社が支援してくれる一方で、血管炎や膠原病では保険適応の薬が少ないせいか、当番校にとっては金銭的な課題が常について回るということもあり、残念だが次回で最後となる。しかし考えてみれば、昔はランチョンセミナーなどはなく、昼食をとり外へ出ていた。時間の節約にはならないかもしれないが、セミナーはなくてもよく、会場も公共施設を利用すれば存続は可能な気がする。昔の質素な時代に戻ってもいいからこのようなユニークな会を続けて欲しいという声も聞かれる。このような素晴らしい会をこれまで存続されてこられた歴代の会長や、第一線で活躍されてこられた世話人の先生方に敬意を表する。自分自身多くのことを本研究会で学ばせていただいた。似たような趣旨の会が今後復活するかはわからないが、どのような形であれ、若い皮膚科医が参加してよかったと実感してもらえるような会がなんらかの形でできればよいと願っている。そして、来年1月に開催される最後の会が盛り上がるよう、多くの先生方の参加を期待している。(T.Y.)

次号予告 Vol.38, No.12

特集 嚢腫

- ◆editorial 山本 俊幸
- ◆治療 爲政 大幾
 - 粉瘤の新しい知見と治療
- ◆臨床例
 - 下顎部に生じた皮膚原発adenoid cystic carcinoma 仲野 祐里ほか
 - 左鼠径部に生じた巨大なsolid cystic hidradenoma 新井 円ほか
 - 超音波検査にて推測されたsolid-cystic hidradenoma 生野 由起ほか
 - 新生女児傍尿道嚢腫 立花 隆夫ほか
 - 足底に生じたIntravascular papillary endothelial hyperplasia の2例 城 光日ほか
 - 耳介に生じたangiomyolipomaとその超音波所見 東田 理恵ほか
 - 乳白色の液体(urate milk)より診断した肘関節の痛風結節、痛風 白鳥 隆宏、加藤 晴久
 - 下腿に生じたcystic eccrine spiradenoma 森山ゆうきほか
 - poroid hidradenoma 小川 達也ほか
 - folliculosebaceous cystic hamartomaの2例 井上(都留)寛子ほか
 - 鼻部に生じたfolliculosebaceous cystic hamartoma 大橋 洋之ほか
 - 右上腕に発生したsolid cystic hidradenoma 菊地 彩音ほか
 - 両側の外眼角部に生じたアポクリン汗嚢腫 黒田 瑛里ほか
- ◆アンケート特集
 - 粉瘤治療をどうするか
- ◆学会ハイライト
 - 第115回日本皮膚科学会総会を終えて 中川 秀己
- ◆New Drugs
 - ゼビアクスローション
- ◆蝶の博物詩 西山 茂夫
- ◆皮心伝心
 - 皮膚外科(skin surgery)へのいざない 白田 俊和
- ◆診察室の四季 斉藤 隆三
- ◆皮膚科のトリビア 浅井 俊弥
- ◆声(質疑・応答を歓迎します)

皮膚病診療 Vol. 38, No.11(2016)

平成28年10月26日印刷
 平成28年11月1日発行
 1部定価2,400円(本体)+税 送料82円
 年ぎめ予約購読料35,800円(本体)+税

発売所／丸善出版株式会社
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル6階
 TEL 03-3512-3256(代表・受注センター) FAX 03-3512-3270

編集人 西岡 清
 発行人 山田 淳史
 発行所 株式会社協和企画
 〒105-8320 東京都港区虎ノ門1-10-5
 日土地虎ノ門ビル3階
 電話：03-6838-9200(代) 03-6838-9225(編集)
 振替口座：00190-0-36746
 印刷所 株式会社 恒陽社印刷所

ご購入ご希望の方は直接弊社もしくは書店までお申し込みください。

© 株式会社 協和企画 2016年

・JCOPY <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。